

■ 除草 [法面、将来用地]

本工事における除草は、肩掛け式草刈機等により草の根の上部付近（土中1～2cm程度）まで根入れして刈る。除草した草、根、泥等を熊手等で集積・回収し、可燃物、不燃物に分離したのち大型土のう袋へ袋詰めする。



■ 高圧水洗浄

・回収型高圧水洗浄（スピンジェット工法）

[路面、コンクリート側壁]

円盤型の装置内で、回転するアームについた複数のノズルにより面的に高圧水洗浄を行うと同時に、装置内で汚染水を吸引回収する。



■ 拭き取り [高欄、落下防止柵等]

無塵ウエス（キムタオル）等を用い、折りたたんだ各面を使用して丁寧に拭き取る。再汚染を防ぐため高い位置から低い位置の順に拭き取り、一拭きごとに新しい面に替える。



■ 混合 [将来用地]

比較的汚染密度の高い表土と表土より深い部分の土壌（深さ30cm程度）を混合し表層の汚染密度を希釈する除染方法。



■ 転圧 [将来用地]

転圧ローラ機械（タイヤローラ等）を用いて、混合したあとの土を従前と同じ程度まで締め固める。



■ 植生基材除去

- ・機械式植生基材除去（セーフティクライマー工法）

〔法面〕

ウィンチ及びケーブルで懸架された小型バックホーの遠隔操作による機械化施工で作業を行う。作業者の被ばく量を低減させながら法面上の放射性物質を含む植生基材(安定のため法面に吹き付けた種子入り土壌)を撤去する。



■ 植生基材吹付〔法面〕

上記方法により撤去した法面を、通常の植生機材吹き付け工法により種子入り土壌で再度被覆し、法面の安定を図るとともに、その遮へい効果により空間線量率の低減を図る。



■ ブラスト

- ・ドライアイスブラスト〔路面〕

路面に衝突したドライアイスの粒が瞬時に気化する際に生じるエネルギーで汚染物を剥ぎ取ると同時に除去物を吸引回収する。吸引により除去物のみ回収するので、排水処理の必要が無い。



- ・乗用式ショットブラスト〔路面〕

ブラスト機及びバキューム機を搭載して自走する、乗用のコンクリート及びアスファルト等の路面表面の剥ぎ取り機。除染前の路面に作業者が立つ必要が無く、単独で作業するため狭所でも作業が可能。



- ・ブラスト（ハンディタイプ）〔コンクリート側壁〕

コンクリート面等に鋼球（径 1.2mm 程度）などのブラスト材を照射するとともに吸引回収することにより表面を薄く削り取る除染方法。



以上